

「せん妄ケアリスト」案に対するパブリックコメント募集について

日本クリティカルケア看護学会

せん妄ケア委員会

1. はじめに

日本クリティカル看護学会せん妄ケア委員会では、クリティカルケア領域のせん妄ケアの質向上を目的とした活動を行っております。この度「せん妄ケアリスト」案を作成し、クリティカルケア領域に携わる医療者からご意見を賜りたく、パブリックコメントを募集させて頂く運びとなりました。ご理解・ご協力をお願い致します。

2. 「せん妄ケアリスト」案作成の経緯

クリティカルケア領域における医療の進展は、クリティカルケア領域の「治療優先の場」であるだけでなく「患者生活の場」でもあることを、エビデンスをもって示すようになりました。2014年には日本集中治療医学会が「日本版・集中治療室における成人重症患者に対する痛み・不穏・せん妄管理のための臨床ガイドライン（以下、J-PAD ガイドライン）」を示し、2018年には米国集中治療医学会（Society of Critical Care Medicine: SCCM）が「Clinical Practice Guidelines for the Prevention and Management of Pain, Agitation/Sedation, Delirium, Immobility, and Sleep Disruption in Adult Patients in the ICU.（以下、PADIS ガイドライン）」を示すなど、せん妄対策は治療と生活の両立を多職種連携の枠組みで、各施設の実行可能性に留意して取り組むことの必要性が示されています。

本委員会は、前身である「術後せん妄ケアガイドライン作成ワーキング・グループ」の時代より、せん妄ケアの内容および必要性の明確化を進めて参りました。この「せん妄ケアリスト」案は、我が国のクリティカルケア領域（集中治療部門、救急部門および関連病棟）において看護師が実践しているせん妄ケアを、生活支援を軸として網羅的にまとめた枠組みを基に、J-PAD ガイドラインと PADIS ガイドライン等の文献を基にケア項目ごとの裏付けを行いました。その後、クリティカルケア領域で日常的にせん妄ケアに従事している2つのリエゾン精神科チームの意見を反映して作成しました。

3. せん妄ケアリストの適応について

①対象患者

集中治療部門、救急部門および関連病棟の成人患者

②せん妄ケアリストの使用法の想定

せん妄ケアリストは、様々な施設のせん妄ケア項目を網羅的にまとめた「リスト」であるため、全項目を実践しなければならないということではありません。患者の状態アセスメントおよび施設状況（精神科医の配置状況などのマンパワーなど）から総合的に実行可能かどうかを判断して、「リスト」から必要なせん妄ケア項目を選択的に使用することを想定しています。つまり、各施設の患者のケアプランを補完するために、せん妄ケアに関して実践可能なせん妄ケア項目の有無を確認して頂くための「リスト」であり、ケアプランそのものではありません。

4. パブリックコメント募集方法

① 募集期間

2019年5月20日（月曜日）から6月3日（月曜日）【必着】

② ご意見、情報の提出方法

- (1) 所属、氏名を記入してください。
(無記名でも受け付けますが、記名のコメントを重要視致します。)
- (2) ご意見に対する個々への回答は致しかねます。
- (3) ご意見を内容改変に反映するか否かは、委員会の討議で判断します。
- (4) パブリックコメントの内容は公表させて頂く場合があります。
- (5) 本せん妄ケアリストは作成過程のものであり、「公表された著作物」には該当しません。いかなる形式、手段によっても転載、引用を許可致しません。
- (6) 本せん妄ケアリストの著作権は、日本クリティカルケア看護学会が保有します。

▼提出先

日本クリティカルケア看護学会事務局

E メール：jaccn_jimu@herusu-shuppan.co.jp

件名を「パブリックコメント応募」として、本文のはじめにご所属、氏名を記載した上でご意見をお寄せ下さい。